

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	27	個別の記録をケアプランに沿って記録を行い、様子や体調の情報共有となっているが、より具体的な記録として弱い。	記録の中からお客様の生活、気持ち、様子がよりわかるような記録を具体的に記入することで、職員間だけではなく、ご家族とも情報共有出来るようにする。	ケアプランに沿った記録を行うとともに、表情や感情、会話などより具体的にお一人おひとりの状態を記録に残す。	12ヶ月
2	24	センター方式の活用を行い、ケアプランの変更時などでアセスメントとして使用しているが、生活歴や馴染みの生活に繋がるプランやアセスメントへの反映が弱い。	より、生活歴や今までの生活習慣を活かしたケアに繋げる。	カンファレンス、アセスメントを行う上で再度センター方式の生活歴や生活習慣の部分を再周知し職員間で統一した把握を行えるようにする。また、ケアプランに反映できるものを反映させ、再度力を入れて取り組む。	12ヶ月
3	35	避難訓練の実施時の地域住民の方の協力体制が弱い。	地域住民との協力体制を強化する。	運営推進会議で委員の方へ避難訓練の参加の呼びかけを行い、参加し体験して頂く。また、地域の防災訓練への参加を続け、地域の方に事業所をもっと知って頂く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。